

出題趣旨・採点基準（刑法） 配点 100 点

第 1 問は、乙が、甲の提案した強盗の計画を被害者丙の行為による変容を受けつつ実行に移した事案において、甲・乙・丙の罪責を共犯、未遂、正当化等の諸観点から論じさせるもの、第 2 問は、乙が詐欺賭博により違法な債務を負わせた行為、恐喝により（違法な）債権の実行として財物等を得ようとした行為、甲が欺罔により違法な債務の支払い猶予を得ようとした行為を取りあげ、財産犯の保護法益に関する基本的理解を問うとともに、他人名義のクレジットカード使用に伴う問題点を論じさせるものである。これによって、基本的な法律科目に関する基礎的学識を習得し、法的な思考・判断力、理解・分析力及び表現力を備えているかどうかを判定した。